

作成日：2012年07月01日
 改訂日：2022年10月28日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品の名称: ショーボンド シリケートガード A液
 会社名: ショーボンドマテリアル株式会社
 住所: 埼玉県川越市芳野台2-8-10
 担当部門: 品質保証課
 電話番号: 049-225-5611 F A X: 049-225-5616
 緊急連絡先: 品質保証課 電話番号: 049-225-5611
 整理番号: シリケートガードA液 -05

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性:	引火性液体	区分に該当しない
健康に対する有害性:	皮膚腐食性/刺激性	区分1C
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1

※記載なきGHS分類区分: 区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語: 危険

危険有害性情報: H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

注意書き

予防策: 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 取り扱い後はよく手を洗うこと。
 粉じんまたはミストを吸入しないこと。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

対応: 皮膚または髪に付着した場合: 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を石けん等で洗うこと。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
 目に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
 飲み込んだ場合: 医師に連絡すること。口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
 下記の場合は直ちに医師の診断/手当を受けて下さい。
 眼に入った場合、飲み込んだ場合、皮膚刺激が生じた場合、気分が悪い場合、身体上の異常が生じた場合、暴露または暴露の懸念がある場合。
 漏出物を回収すること。

保管 容器を密閉し、換気の良い冷暗所で、施錠するなど関係者以外が立ち入れないような管理された場所で保管すること。

廃棄 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に、業務委託し廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物

化学名又は一般名 (成分)	官報公示整理番号 化審法	CAS No.	濃度又は 濃度範囲(含有量%)
水	—	7732-18-5	90~100

4. 応急処置

- 目に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄をつづけること。直ちに眼科医の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合： 布で素早く拭き取り、多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激、または、発疹が生じた場合は、医師の診断を受ける。
- 吸入した場合： 直ちに空気の新鮮な場所に移動し、呼吸のしやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合： 直ちに水で口をすすぎ、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤： 本製品は不燃性である。周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。
- 使ってはならない消火剤： 特になし。
- 特有の消火方法： 本製品は不燃性である。周辺火災の場合には速やかに容器を安全な場所に移す。移動が不可能な場合は容器に散水して冷却し、容器の破壊を防止する。製品が溶解した消火排水はアルカリ性を示すため、中和処理を行う。
- 消火を行うものの保護： 消火作業の際は、必ず耐熱性着衣などを着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項： 保護具及び緊急時措置：直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離すること。関係者以外の立ち入りを禁止すること。
作業者は適切な保護具(手袋、保護眼鏡等)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避けること。風上に留まること。低地から離れること。
- 環境に対する注意事項： 河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
大量の流出には盛り土などで囲って流出を防止する。
- 回収・中和： 土砂等(の不燃物)で囲みビニールシート等でおおい、蒸気の発生を抑えながら回収する。
- 封じ込み及び浄化の方法・機材： 拡散を防止し、流出物をすくい取るか、又は、ウェス等を使用して空容器に回収する。
- 二次災害の防止策： 付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除き、火災の発生を防ぐ。
着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。
関係箇所に通報し応援を求める。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い：
 - 技術的対策： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用すること。
 - 局所排気・全体換気： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なうこと。
 - 安全な取り扱い注意事項： 周辺で火気の使用、発生のないこと。
使用前にショーボンドマテリアルホームページ「樹脂製品の取り扱いについて」「樹脂製品を安全にご利用いただくために」を必ず参照すること。
ホームページアドレス：<https://www.sb-material.co.jp/resin/download.html>
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
接触、吸入又は飲み込まないこと。
粉じん、ヒュームを吸入しないこと。
屋外又は換気の良い区域のみで使用すること。
取扱い後は、よく手を洗うこと。
- 接触回避： 「10.安定性及び反応性」を参照。
- 保管：

技術的対策： 保管場所には、危険物を貯蔵し取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設けること。

保管条件： 酸類との接触を避ける。
容器を密閉して換気の良いところで保管すること。
施錠して保管すること。

混色禁止物質： 「10. 安定性及び反応性」を参照。

容器包装材料： 密閉可能な鋼鉄製またはプラスチック容器。アルミニウム、亜鉛、すず、銅、鉛などの金属は腐食のおそれがあるため使用不可。

8. 暴露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
水	未設定	未設定	未設定

設備対策： 換気の悪い場所では局所排気装置等の排気のための装置を設置する。
電気機器は防爆構造とする。
取扱い場所の近くには、洗顔、身体洗浄のための設備を設ける。

保護具

呼吸器の保護具： 必要な個人用保護機器を使用すること。

手の保護具： 保護手袋

目の保護具： 保護メガネ

皮膚及び身体の保護具： 化学薬品が浸透しにくい作業衣を着用する。

9. 物理的および化学的性質

物理的状態、形状等： 液状

色： 無色またはわずかに白濁

臭い： 無臭

融点／凝固点： データなし

沸点,初留点及び沸騰範囲： データなし

可燃性： データなし

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界： 不燃性

引火点： なし

自然発火温度： 不燃性

分解温度： データなし

pH: 11~13

動粘性率： データなし

溶解度： 水に溶解

n-オクタノール／水分配係数(log値)： データなし

蒸気圧： データなし

密度及び／又は相対密度： 1.0g/cm³

相対ガス密度： データなし

粒子特性： データなし

その他情報： データなし

10. 安定性および反応性

安定性： 通常取り扱い条件下では安定である。

反応性： 酸と反応し、中和熱を生じる。

避けるべき条件： アルミニウム、すず、亜鉛等のアルカリに侵食されやすい材料。

混触危険物質： 酸類。

危険有害な分解生成物： 情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性： 経口： データ不足のため分類できない。
経皮： データ不足のため分類できない。
吸入(気体)： GHS 定義による気体ではない。

吸入(蒸気):	データ不足のため分類できない。
吸入 (粉じん・ミスト):	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性/刺激性: 眼に対する重篤な損傷 /眼刺激性:	製品のpHが 11.5 以上のため塩基 (pH \geq 11.5)とし、区分 1Cとした。 製品のpHが 11.5 以上のため塩基 (pH \geq 11.5)とし、区分 1とした。
呼吸器感受性:	データ不足のため分類できない。
皮膚感受性:	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性:	データ不足のため分類できない。
発がん性:	データ不足のため分類できない。
生殖毒性:	データ不足のため分類できない。
生殖毒性・授乳影響:	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
誤えん有害性:	動粘性率が不明のため、分類できないとした。

1 2. 環境影響情報

水生環境有害性 短期 (急性):	(毒性乗率 \times 100 \times 区分1)+(10 \times 区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
水生環境有害性 長期 (慢性):	(毒性乗率 \times 100 \times 区分1)+(10 \times 区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
生態毒性:	データなし。
残留性・分解性:	データなし。
生体蓄積性:	データなし。
土壤中の移動性:	データなし。
オゾン層への有害性:	データ不足のため分類できない。

1 3. 廃棄上の注意

産業廃棄物として許可を受けた専門業者に委託する。pHが 12.5 を超える廃アルカリは特別管理産業廃棄物に指定されており、収集・運搬・処分は定められた基準に従って処理する。
容器を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後に都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
容器、機械装置等を洗浄した排液等を、地面や排水溝へ流さないこと。

1 4. 輸送上の注意

注意事項

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器の漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷のないように積込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制

陸上輸送：消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法による。
海上輸送：船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送：航空法に定められている運送方法に従う。
国連分類：クラス 8
国連番号：3 2 6 6

1 5. 適用法令

労働安全衛生法:	非該当
毒物及び劇物取締法:	非該当
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法):	非該当

消防法:	非危険物
海洋汚染防止法:	有害でない物質(施行令別表第1の2)
外国為替及び外国貿易法:	輸出貿易管理令別表第1の16の項

16. その他の情報

注意事項：本データは、工業的な一般的取扱いに際しての、安全な取扱いについて最新の情報を集め、記載したのですが、必ずしも充分とはいえないので取扱いには充分注意して下さい。
新たな情報を入手した場合は、追加または改訂されることがあります。
本製品の取扱いに記載されている以外の他の化学物質を混ぜたり、特殊な条件で使用するときは、ユーザーが安全性の評価を実施してください。

参考文献

- 1) GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場の表示及び安全データシート (SDS) : J I S Z 7 2 5 3 : 2 0 1 9)
- 2) 製品安全データシートの作成指針 平成18年5月 (社団法人 日本化学工業協会)
- 3) GHS分類結果データベース、独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ
- 4) 原材料/製品メーカー SDS

作成日：2012年07月01日

改訂日：2022年10月28日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品の名称: ショーボンド シリケートガード B液
 会社名: ショーボンドマテリアル株式会社
 住所: 埼玉県川越市芳野台2-8-10
 担当部門: 品質保証課
 電話番号: 049-225-5611 F A X: 049-225-5616
 緊急連絡先: 品質保証課 電話番号: 049-225-5611
 整理番号: シリケートガードB液 -05

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性:	引火性液体	区分に該当しない
健康に対する有害性:	急性毒性(経口)	区分4
	皮膚腐食性/刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1

※記載なきGHS分類区分: 区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語:	危険
危険有害性情報:	H302 飲み込むと有害 H315 皮膚刺激 H318 重篤な眼の損傷

注意書き

予防策:	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 取り扱い後はよく手を洗うこと。 粉じんまたはミストを吸入しないこと。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
対応:	皮膚または髪に付着した場合: 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を石けん等で洗うこと。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。 目に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。 飲み込んだ場合: 医師に連絡すること。口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 下記の場合は直ちに医師の診断/手当を受けて下さい。 眼に入った場合、飲み込んだ場合、皮膚刺激が生じた場合、気分が悪い場合、身体上の異常が生じた場合、暴露または暴露の懸念がある場合。 漏出物を回収すること。
保管	容器を密閉し、換気の良い冷暗所で、施錠するなど関係者以外が立ち入れないような管理された場所で保管すること。
廃棄	内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に、

業務委託し廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物

化学名又は一般名 (成分)	官報公示整理番号 化審法	CAS No.	濃度又は 濃度範囲(含有量%)
ケイ酸ナトリウム	(1)-508	1344-09-8	25~35

4. 応急処置

目に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄をつづけること。直ちに眼科医の診断を受ける。

皮膚に付着した場合： 布で素早く拭き取り、多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激、または、発疹が生じた場合は、医師の診断を受ける。

吸入した場合： 直ちに空気の新鮮な場所に移動し、呼吸のしやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合： 直ちに水で口をすすぎ、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤： 本製品は不燃性である。周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。

使ってはならない消火剤： 特になし。

特有の消火方法： 本製品は不燃性である。周辺火災の場合には速やかに容器を安全な場所に移す。移動が不可能な場合は容器に散水して冷却し、容器の破壊を防止する。製品が溶解した消火排水はアルカリ性を示すため、中和処理を行う。

消火を行うものの保護： 消火作業の際は、必ず耐熱性着衣などを着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項： 保護具及び緊急時措置：直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離すること。関係者以外の立ち入りを禁止すること。
作業者は適切な保護具(手袋、保護眼鏡等)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避けること。風上に留まること。低地から離れること。

環境に対する注意事項： 河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
大量の流出には盛り土などで囲って流出を防止する。

回収・中和： 土砂等(の不燃物)で囲みビニールシート等でおおい、蒸気の発生を抑えながら回収する。

封じ込み及び浄化の方法・機材： 拡散を防止し、流出物をすくい取るか、又は、ウェス等を使用して空容器に回収する。

二次災害の防止策： 付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除き、火災の発生を防ぐ。
着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。
関係箇所に通報し応援を求める。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い： 技術的対策： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用すること。

局所排気・全体換気： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なうこと。

安全な取り扱い注意事項： 周辺で火気の使用、発生のないこと。
使用前にショーボンドマテリアルホームページ「樹脂製品の取り扱いについて」「樹脂製品を安全にご利用いただくために」を必ず参照すること。
ホームページアドレス：<https://www.sb-material.co.jp/resin/download.html>
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
接触、吸入又は飲み込まないこと。
粉じん、ヒュームを吸入しないこと。
屋外又は換気の良い区域のみで使用すること。

取扱い後は、よく手を洗うこと。
 「10.安定性及び反応性」を参照。

接触回避：
 保管 ；

技術的対策： 保管場所には、危険物を貯蔵し取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設けること。

保管条件： 酸類との接触を避ける。
 容器を密閉して換気の良いところで保管すること。
 施錠して保管すること。

混色禁止物質：
 容器包装材料： 「10. 安定性及び反応性」を参照。
 密閉可能な鋼鉄製またはプラスチック容器。アルミニウム、亜鉛、すず、銅、鉛などの金属は腐食のおそれがあるため使用不可。

8. 暴露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
ケイ酸ナトリウム	未設定	未設定	未設定

設備対策： 換気の悪い場所では局所排気装置等の排気のための装置を設置する。
 電気機器は防爆構造とする。
 取扱い場所の近くには、洗顔、身体洗浄のための設備を設ける。

保護具

呼吸器の保護具： 必要な個人用保護機器を使用すること。
 手の保護具： 保護手袋
 目の保護具： 保護メガネ
 皮膚及び身体の保護具： 化学薬品が浸透しにくい作業衣を着用する。

9. 物理的および化学的性質

物理的状態、形状等： 粘稠液状
 色： 無色またはわずかに着色
 臭い： 無臭
 融点／凝固点： データなし
 沸点,初留点及び沸騰範囲： データなし
 可燃性： データなし
 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界： 不燃性
 引火点： なし
 自然発火温度： 不燃性
 分解温度： データなし
 pH: 10～13
 動粘性率： データなし
 溶解度： 水に溶解
 n-オクタノール／水分配係数(log値)： データなし
 蒸気圧： データなし
 密度及び／又は相対密度： 1.3g/cm³
 相対ガス密度： データなし
 粒子特性： データなし
 その他情報： データなし

10. 安定性および反応性

安定性： 通常の取り扱い条件下では安定である。
 反応性： 酸と反応し、中和熱を生じる。
 避けるべき条件： アルミニウム、すず、亜鉛等のアルカリに侵食されやすい材料。
 混触危険物質： 酸類。
 危険有害な分解生成物： 情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性:	経口:	急性毒性推定値が 1100mg/kg のため区分 4 とした。
	経皮:	急性毒性推定値が 4641mg/kg のため区分 5 とした。 JIS Z 7252 に採用されていないため区分 5 から区分に該当しないに変更。
	吸入(気体):	GHS 定義による気体ではない。
	吸入(蒸気):	データ不足のため分類できない。
	吸入 (粉じん・ミスト):	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性/刺激性:		OECD TG 431 in vitro 皮膚腐食性試験 (GLP) において、皮膚腐食性 区分 2 以下と判定された。(2018 年 無機薬品協会実施、(一財)化学物質評価研究機構, Report No.K10-0381, Report No.K10-0382 および Report No.K10-0383)
眼に対する重篤な損傷 /眼刺激性:		製品の pH が 11.5 以上のため塩基 (pH ≥ 11.5) とし、区分 1 とした。
呼吸器感受性:		データ不足のため分類できない。
皮膚感受性:		データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性:		データ不足のため分類できない。
発がん性:		データ不足のため分類できない。
生殖毒性:		データ不足のため分類できない。
生殖毒性・授乳影響:		データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露):		データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露):		データ不足のため分類できない。
誤えん有害性:		動粘性率が不明のため、分類できないとした。

1 2. 環境影響情報

水生環境有害性 短期 (急性):		(毒性乗率 × 100 × 区分1) + (10 × 区分2) + 区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。
水生環境有害性 長期 (慢性):		(毒性乗率 × 100 × 区分1) + (10 × 区分2) + 区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。
生態毒性:		データなし。
残留性・分解性:		データなし。
生体蓄積性:		データなし。
土壤中の移動性:		データなし。
オゾン層への有害性:		データ不足のため分類できない。

1 3. 廃棄上の注意

産業廃棄物として許可を受けた専門業者に委託する。pH が 12.5 を超える廃アルカリは特別管理産業廃棄物に指定されており、収集・運搬・処分は定められた基準に従って処理する。
容器を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後に都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
容器、機械装置等を洗浄した排液等を、地面や排水溝へ流さないこと。

1 4. 輸送上の注意

注意事項

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器の漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制

陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法による。

海上輸送: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送: 航空法に定められている運送方法に従う。

国連分類: クラス 8

国連番号: 3 2 6 6

1 5. 適用法令

労働安全衛生法: 非該当

毒物及び劇物取締法:	非該当
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法):	非該当
消防法:	非危険物
海洋汚染防止法:	有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1)
外国為替及び外国貿易法:	輸出貿易管理令別表第1の16の項
水道法:	有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101号)

16. その他の情報

注意事項：本データは、工業的な一般的取扱いに際しての、安全な取扱いについて最新の情報を集め、記載したものです。必ずしも充分とはいえないので取扱いには充分注意して下さい。
 新たな情報を入手した場合は、追加または改訂されることがあります。
 本製品の取扱いに記載されている以外の他の化学物質を混ぜたり、特殊な条件で使用するときは、ユーザーが安全性の評価を実施してください。

参考文献

- 1) GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場の表示及び安全データシート(SDS): JIS Z 7253:2019)
- 2) 製品安全データシートの作成指針 平成18年5月(社団法人 日本化学工業協会)
- 3) GHS分類結果データベース、独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ
- 4) 原材料/製品メーカーSDS